



[いきいきウォーキング千本浜公園周辺コース](#)

[いきいきウォーキング千本浜公園周辺コース](#)

千本浜公園八角池9:30集合、沼津市長寿福祉課(生きがい推進係)のご挨拶、ぬまづ観光ボランティアガイドより本日のウォーキングコースの案内があった。晴天の日、爽やかなウォーキングの始まりでした。



[いきいきウォーキング千本浜公園周辺コース](#)

[いきいきウォーキング千本浜公園周辺コース](#)

◆首塚

・地元の伝承によれば、今から四百数十年前、武田勝頼と、北条氏直との間で土地をめぐる勢力争いで、この地で激しく合戦が繰り返され、その時戦死した将士の首を集め、海岸に塚をつくり吊ったものです。

◆井上靖文学碑について

・「千個の海のかげらが 千本の松の間に 挟まっていた 少年の日 私は 毎日 それを一つずつ 食べて育った」この詩は、少年時代を過ごした沼津の思い出を詠んだものです。文学碑の足元のプレートには、主な著作103の作品名が刻まれています。



[いきいきウォーキング千本浜公園周辺コース](#)

[いきいきウォーキング千本浜公園周辺コース](#)

◆子守唄の歌碑 この子のかわいさ(ねさせ歌)

・「坊やは よい子だ ねんねしな この子のかわいさ 限りなさ 天にのぼれば 星の数 七里(しちり)の浜では 砂の数 山では木の数 萱の数」この歌は、江戸時代1780年代の頃よりこの地方で歌い継がれており、空の星の数、浜辺の砂の数、千本松原の数よりも、わが子を思う心は、無限にかわいさと愛情を注いだ歌です。



[いきいきウォーキング千本浜公園周辺コース](#)



[いきいきウォーキング千本浜公園周辺コース](#)

◆昭憲皇太后陛下御座所跡

・明治天皇の皇后「昭憲皇太后陛下」は、お気に入りの千本浜にはしばしばおいでになり、ここからの景観を眺望されておりました。

◆若山牧水歌碑

・「幾山河 こえざりゆかば 寂しさの はてなむ國ぞ けふも旅ゆく」全国300基以上の若山牧水の歌碑がある中で、一番最初に建てられた歌碑です。



[いきいきウォーキング千本浜公園周辺コース](#)



[いきいきウォーキング千本浜公園周辺コース](#)

◆千本松原を再生させた恩人「増誉上人」

・戦国時代の戦いで荒廃した松林を復元した増誉上人の像です。増誉上人は、松苗を一本植えるごとに、「南無阿弥陀仏」を唱え、心をこめて苗を植え続けました。生まれ変わった千本松原を見て、里人は増誉上人に感謝して、その徳をたたえ庵を贈り、これが乗運寺の開基と言われております。

◆角田竹冷の句碑

・安政3年現在の富士市に生まれ、少年時代は沼津で働きながら学び明治5年16才の時、東京に出て弁護士になり、35才で衆議院議員に当選、17年にわたって議員として活躍しました。



[いきいきウォーキング千本浜公園周辺コース](#)



[いきいきウォーキング千本浜公園周辺コース](#)

◆明石海人歌碑

・歌集「白猫」の序文より「癩(らい)は天刑である。…… 自らが燃えなければ何處にも光はない…… 癩はまた天啓でもあった。」ハンセン病を患いながらも、それを乗り越え、素晴らしい歌を作った沼津の生んだ明石海人は郷土の誇りです。

◆駿河湾三つの自慢

・日本一深い湾2500m。相模湾1500m、富山湾900m

- ・約1200種類の魚が生息。黒潮と親潮がぶつかり合う境界域
- ・世界一大きなタカハシガニが生息(戸田)3m以上



[いきいきウォーキング千本浜公園周辺コース](#)



[いきいきウォーキング千本浜公園周辺コース](#)

◆勝田香月記念碑

・「今宵出船か お名残り惜しや……」出船の詩は、香月18才の時に出した第3詩集「心のほころび」に掲載され「別れを惜しむ女のイメージ」と「故郷沼津の海への郷愁」とを、重ね合わせた作品です。大正11年、この詩に法政大学音楽部の指揮をしていた杉山長谷夫が曲をつけ、名曲「出船」が誕生した。

◆本居長世記念碑

・本居長世は、「十五夜お月さん」を始め、数々の童謡を作曲しました。「童謡の父」と呼ばれています。作曲家本居長世は、沼津をこよなく愛し、毎年夏にはこの地を訪れ、浜辺の生活を楽しんだ。



[いきいきウォーキング千本浜公園周辺コース](#)



[いきいきウォーキング千本浜公園周辺コース](#)

◆沼津港大型展望水門びゅうお

・津波対策用と観光用の展望施設、「びゅうお」は、英語のビュー(眺め)と、魚(うお)の造語。東海地震の津波から沼津港の沿岸部約50ha、住民9,000人の命と財産を守るため平成16年9月26日オープンした。

千本浜公園をスタートした「いきいきシニアウォーク」沼津市長寿福祉課生きがい推進係主催、ぬまづ観光ボランティアガイド協力の今回のイベントでしたが、参加者の声「沼津に生活して長いが、千本浜にこんなに多くの歌碑・句碑・記念碑があることを知らなかった。」「また、ゆっくり巡ってみたい。」との感想が聞かれ主催者側の「沼津の良さをもっと知ってもらいたい。」との願いが合致したものと成りました。ぜひ、「いきいきシニアウォーク」が高齢者の健康づくり、生きがいづくり、居場所づくりにつながることを期待しています。

5月23日(火)9:30香貫山コース「いきいきシニアウォーク」第2弾にも多くの参加申込があるとのことです。

沼津・北駿地区 生きがい特派員 福田和男